

各 位

会社名 トラスコ中山株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 中山 哲也  
 (コード9830 東証一部)  
 問合せ先 取締役 経営管理本部長 中井 一雄  
 (TEL.03-3433-9840)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、令和2年2月10日の令和元年12月期決算発表時に公表した業績予想及び配当予想の修正を決定しましたのでお知らせします。

記

1. 令和2年12月期第2四半期連結業績予想数値の修正 (令和2年1月1日～令和2年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 114,074	百万円 6,635	百万円 6,758	百万円 4,595	69円68銭
今回修正予想 (B)	108,413	6,161	6,400	4,333	65円72銭
増減額 (B-A)	△5,660	△473	△357	△261	
増減率 (%)	△5.0	△7.1	△5.3	△5.7	

2. 令和2年12月期通期連結業績予想数値の修正 (令和2年1月1日～令和2年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 231,619	百万円 13,007	百万円 13,257	百万円 9,012	136円66銭
今回修正予想 (B)	198,548 ～225,849	7,636 ～12,640	7,996 ～13,000	5,499 ～8,952	83円39銭 ～135円75銭
増減額 (B-A)	△33,071 ～△5,770	△5,371 ～△367	△5,261 ～△257	△3,513 ～△60	
増減率 (%)	△14.3 ～△2.5	△41.3 ～△2.8	△39.7 ～△1.9	△39.0 ～△0.7	
(参考)前年同期間実績 (平成31年1月1日～ 令和元年12月31日)	220,674	13,797	14,197	9,613	145円78銭

### 3. 配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想(令和2年2月10日)	17円50銭	17円00銭	34円50銭
今回修正予想	16円50銭	4円50銭 ～17円50銭	21円00銭 ～34円00銭
前期実績(令和元年12月期)	18円50銭	18円00銭	36円50銭

### 4. 修正の理由

製造業を中心としたモノづくり現場においては、令和2年4月7日から令和2年5月25日まで新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた緊急事態宣言が発出された影響で、工場の稼働停止や生産調整が行われました。また、設備投資においても能力増強投資などを先送りする動きが広がりました。当社及び連結子会社の当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴いマスクや保護服、消毒液などの受注の増加があったものの、設備投資の際に必要なとされる物流保管用品や工場の稼働に必要な製品群の受注の減少により売上高及び売上総利益が減少しました。

下期(令和2年7月1日～令和2年12月31日)においては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明な状況下であることから、今後の状況の好転・悪化が業績に及ぼす影響をそれぞれ考慮し、令和2年12月期通期連結業績予想数値から、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を下方修正の上で、それぞれレンジ形式による開示に変更しています。なお、レンジの上限は市況が回復して下期の売上高が概ね当初の予算通り推移した場合として算出しています。また、レンジの下限は緊急事態宣言が発出されていた令和2年5月度と同程度まで経済活動が停滞した場合を想定し算出しています。これに伴い、配当予想も上記の通り修正します。

(注) 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しています。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上